

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 尾崎 弘明

TEL 025-245-2311

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第2四半期 | 5,249 | 3.0 | △595 | — | △647 | — | △653 | — |
| 25年12月期第2四半期 | 5,096 | 5.6 | △617 | — | △638 | — | △639 | — |

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △661百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △649百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第2四半期 | △46.23 | — |
| 25年12月期第2四半期 | △45.62 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年12月期第2四半期 | 15,783 | 2,219 | 11.4 |
| 25年12月期 | 16,567 | 2,875 | 14.8 |

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,800百万円 25年12月期 2,451百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期 | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年12月期 | — | — | — | — | — |
| 26年12月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,622 | 3.3 | 395 | 191.0 | 274 | 186.7 | 215 | 819.5 | 15.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-----------|--------------|---------|--------------|
| 26年12月期2Q | 14,275,450 株 | 25年12月期 | 14,275,450 株 |
|-----------|--------------|---------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 26年12月期2Q | 124,537 株 | 25年12月期 | 141,437 株 |
|-----------|-----------|---------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 26年12月期2Q | 14,138,842 株 | 25年12月期2Q | 14,012,941 株 |
|-----------|--------------|-----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報..... | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記..... | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果や企業収益の改善等により景気回復の兆しがみられたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、円安による原材料価格や燃料油価格の高騰により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、4月に大型新造カーフェリー「ときわ丸」が就航し、ご利用されるお客様からは高い評価をいただいております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、前年4月に吸収合併した日本海内航汽船(株)の業績が加わったものの、4月以降、貨物輸送や車両航送については消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が表れております。旅客輸送についても消費税増税による消費マインドの落ち込みにより、新造船就航による集客効果を十分に発揮出来ない状況となっております。また、費用面におきましても円安による原油の輸入価格高騰に伴い燃料費が増加しているため、前年同期と比較して若干の減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,249,886千円（前年同期比3.0%増）、営業損失は595,245千円（前年同期は617,850千円の営業損失）、経常損失は647,599千円（前年同期は638,553千円の経常損失）、四半期純損失は653,579千円（前年同期は639,229千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり季節的変動が顕著であります。

①海運

当第2四半期連結累計期間の旅客輸送人員は664,781人（前年同期比1.2%減）、自動車航送台数は乗用車換算で98,597台（前年同期比2.1%増）、貨物輸送トン数は91,462トン（前年同期比24.5%増）となりました。

貨物部門においては昨年4月に吸収合併した日本海内航汽船(株)の輸送分が加わったことにより輸送量及び売上高は増加しました。しかしながら、消費税増税に伴う消費マインドの落ち込みにより売上高が伸び悩んだことに加えて、費用面においても原油の輸入価格上昇に伴い船舶燃料費が前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は3,506,149千円（前年同期比2.8%増）、セグメント損失（営業損失）は541,057千円（前年同期は543,282千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

②一般貨物自動車運送

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が見られるものの、駆け込み需要が予想以上に大きかったことから売上高は前年同期と比べて増加しました。

以上の結果、売上高は890,077千円（前年同期比8.1%増）、セグメント損失（営業損失）は10,001千円（前年同期は12,797千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③売店・飲食

前年同期と比較して佐渡への団体観光客の入り込み数が減少したことから売上高は減少しました。費用面においては前連結会計年度末において同セグメントでは減損損失を計上したことに伴い減価償却費が減少したことや、費用の削減に努めたことから、前年同期と比べてセグメント損失（営業損失）は減少しました。

以上の結果、売上高は515,217千円（前年同期比1.5%減）、セグメント損失（営業損失）は39,287千円（前年同期は42,928千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

④観光

旅行業において佐渡島内からの団体旅行の取扱いが増加したこと、旅館業において宿泊客数が増加したことから売上高は増加しました。また、旅館業において前連結会計年度末に減損損失を計上したことに伴い減価償却費が減少したことから、前年同期と比べてセグメント損失（営業損失）は減少しました。

以上の結果、売上高は239,337千円（前年同期比2.4%増）、セグメント損失（営業損失）は17,879千円（前年同期は35,674千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

⑤その他

不動産賃貸業において賃貸料収入が減少したこと、建物サービス業において清掃料収入が減少したこと等により前年同期と比較して売上高は減少しました。

以上の結果、売上高は99,106千円（前年同期比6.3%減）、セグメント損失（営業損失）は6,903千円（前年同期は1,068千円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ784,476千円減少し15,783,123千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ835,173千円増加し3,984,994千円となりました。これは、当社において借入を行ったことや季節的な要因により現金及び預金が578,711千円、受取手形及び売掛金が219,862千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1,638,157千円減少し11,759,524千円となりました。これは、カーフェリー「ときわ丸」が竣工したことに伴い、建設仮勘定が1,703,907千円減少したことが主な要因であります。

なお、カーフェリー「ときわ丸」は国庫補助金等を受けて建造しているため、圧縮記帳を行っております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ128,292千円減少し13,563,882千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ4,270,701千円減少し4,362,461千円となりました。これは、季節的な要因により支払手形及び買掛金が250,034千円増加したこと、社債の発行により1年内償還予定の社債が161,560千円増加したこと、その他が386,297千円増加したことの他、短期借入金が1,887,000千円、前受補助金が3,094,390千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ4,142,409千円増加し9,201,421千円となりました。これは、社債の発行により社債が889,440千円増加したこと及び高速カーフェリー建造資金等として長期借入金が3,204,694千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ656,184千円減少し2,219,241千円となりました。これは、653,579千円の四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成26年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,490,601 | 2,069,312 |
| 受取手形及び売掛金 | 752,873 | 972,735 |
| たな卸資産 | 676,941 | 677,248 |
| 繰延税金資産 | 73,026 | 73,252 |
| その他 | 163,775 | 201,990 |
| 貸倒引当金 | △7,395 | △9,543 |
| 流動資産合計 | 3,149,821 | 3,984,994 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 船舶(純額) | 1,199,719 | 1,251,171 |
| 建物(純額) | 3,351,458 | 3,259,434 |
| 土地 | 1,907,804 | 1,902,743 |
| 建設仮勘定 | 5,357,968 | 3,654,061 |
| その他(純額) | 798,195 | 872,554 |
| 有形固定資産合計 | 12,615,144 | 10,939,963 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 11,124 | 10,183 |
| その他 | 293,867 | 296,443 |
| 無形固定資産合計 | 304,991 | 306,626 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 160,483 | 170,064 |
| 長期前払費用 | 219,124 | 245,129 |
| 繰延税金資産 | 31,609 | 35,717 |
| その他 | 68,297 | 63,992 |
| 貸倒引当金 | △1,967 | △1,967 |
| 投資その他の資産合計 | 477,546 | 512,935 |
| 固定資産合計 | 13,397,681 | 11,759,524 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 20,097 | 38,605 |
| 繰延資産合計 | 20,097 | 38,605 |
| 資産合計 | 16,567,599 | 15,783,123 |

(単位: 千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 390,523 | 640,557 |
| 短期借入金 | 1,975,000 | 88,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 98,000 | 259,560 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,913,213 | 1,826,416 |
| 未払法人税等 | 31,125 | 23,580 |
| 賞与引当金 | 40,284 | 47,424 |
| 前受補助金 | 3,572,238 | 477,848 |
| その他 | 612,779 | 999,076 |
| 流動負債合計 | 8,633,162 | 4,362,461 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 803,000 | 1,692,440 |
| 長期借入金 | 3,306,415 | 6,511,109 |
| 退職給付引当金 | 652,143 | 673,391 |
| 役員退職慰労引当金 | 48,022 | 48,305 |
| 特別修繕引当金 | 103,943 | 129,830 |
| 負ののれん | 1,858 | — |
| 資産除去債務 | 36,571 | 36,856 |
| その他 | 107,060 | 109,490 |
| 固定負債合計 | 5,059,012 | 9,201,421 |
| 負債合計 | 13,692,174 | 13,563,882 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 843,135 | 843,135 |
| 資本剰余金 | 680,992 | 681,020 |
| 利益剰余金 | 978,898 | 325,296 |
| 自己株式 | △72,176 | △68,002 |
| 株主資本合計 | 2,430,849 | 1,781,449 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 20,679 | 18,867 |
| その他の包括利益累計額合計 | 20,679 | 18,867 |
| 新株予約権 | 45,646 | 49,035 |
| 少数株主持分 | 378,251 | 369,890 |
| 純資産合計 | 2,875,425 | 2,219,241 |
| 負債純資産合計 | 16,567,599 | 15,783,123 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 5,096,475 | 5,249,886 |
| 売上原価 | 5,203,425 | 5,369,725 |
| 売上総損失(△) | △106,950 | △119,839 |
| 販売費及び一般管理費 | 510,900 | 475,406 |
| 営業損失(△) | △617,850 | △595,245 |
| 営業外収益 | | |
| 固定資産賃貸料 | 38,129 | 36,177 |
| 受取利息 | 251 | 159 |
| 受取配当金 | 4,619 | 4,408 |
| その他 | 33,365 | 41,710 |
| 営業外収益合計 | 76,364 | 82,454 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 76,150 | 64,854 |
| 固定資産賃貸費用 | 12,210 | 12,815 |
| シンジケートローン手数料 | — | 44,122 |
| その他 | 8,707 | 13,017 |
| 営業外費用合計 | 97,067 | 134,808 |
| 経常損失(△) | △638,553 | △647,599 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 13,630 | 4,815 |
| 負ののれん発生益 | 8,072 | — |
| 特別利益合計 | 21,702 | 4,815 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 5,717 | 2,158 |
| 固定資産除却損 | 3,027 | 4,676 |
| 特別損失合計 | 8,744 | 6,834 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △625,595 | △649,618 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,178 | 22,074 |
| 法人税等調整額 | 22,330 | △12,597 |
| 法人税等合計 | 27,508 | 9,477 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △653,103 | △659,095 |
| 少数株主損失(△) | △13,874 | △5,516 |
| 四半期純損失(△) | △639,229 | △653,579 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △653,103 | △659,095 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,686 | △2,286 |
| その他の包括利益合計 | 3,686 | △2,286 |
| 四半期包括利益 | △649,417 | △661,381 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △635,659 | △655,391 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △13,758 | △5,990 |

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-----------|---------------|---------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 海運 | 一般貨物 自動車運送 | 売店・飲食 | 観光 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,410,611 | 823,482 | 522,842 | 233,753 | 4,990,688 | 105,787 | 5,096,475 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,228 | 168,477 | 13,233 | 216,651 | 401,589 | 91,501 | 493,090 |
| 計 | 3,413,839 | 991,959 | 536,075 | 450,404 | 5,392,277 | 197,288 | 5,589,565 |
| セグメント利益又は損失(△) | △543,282 | △12,797 | △42,928 | △35,674 | △634,681 | 1,068 | △633,613 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間において、当社と日本海内航汽船株式会社との合併により、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「海運」において788,943千円増加しております。
3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|----------|
| 報告セグメント計 | △634,681 |
| 「その他」の区分の利益 | 1,068 |
| セグメント間取引消去 | 15,763 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △617,850 |

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-----------|---------------|---------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 海運 | 一般貨物 自動車運送 | 売店・飲食 | 観光 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,506,149 | 890,077 | 515,217 | 239,337 | 5,150,780 | 99,106 | 5,249,886 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 12 | 146,713 | 22,034 | 194,190 | 362,949 | 103,719 | 466,668 |
| 計 | 3,506,161 | 1,036,790 | 537,251 | 433,527 | 5,513,729 | 202,825 | 5,716,554 |
| セグメント利益又は損失(△) | △541,057 | △10,001 | △39,287 | △17,879 | △608,224 | △6,903 | △615,127 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|----------|
| 報告セグメント計 | △608,224 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △6,903 |
| セグメント間取引消去 | 19,882 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △595,245 |

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。